

漂白剤の誤飲に注意

除菌・漂白中の食器や調理器具の取り扱いにご注意！

台所用漂白剤であるキッチンハイター、キッチン泡ハイターの誤飲に関するご相談は、生活習慣の変化とともにその内容も変化しています。

ひと昔前は、どこのご家庭でもキッチンのシンクには洗い桶がありました。水をはった洗い桶に食後の食器を入れ、汚れをふやかして落としやすくすることに使っていました。湯呑や急須といった茶渋をとる際などは、洗い桶に漂白剤をうすめた希釈液をつくり、そこに浸け込み、除菌・漂白をしていました。

最近では、シンクに洗い桶を置くご家庭が少なくなっています。そのため、カップなどを除菌・漂白する際には、カップに漂白剤の希釈液を入れてキッチン台に置いたり、泡で出るタイプの漂白剤をカップの内側にかけて置いておくことが増えているようです。ご家族は漂白していることを知らずに誤って飲んでしまったり、漂白したご本人も、ついうっかりカップに入れた希釈液を口にしてしまうことがあります。泡で出るタイプの場合は、時間の経過とともに泡が消えるため、すすぎをしていないことを忘れて、そのまま飲料を入れて飲んでしまうこともあるようです。まな板など調理器具の場合は、「すすぎをせず、そのまま調理に使ってしまったが食べられるでしょうか」というご相談も寄せられています。

また、最近では水筒やタンブラーを持ち歩く方も増え、夜に除菌・漂白していたことを忘れて、翌朝、そこにお茶を入れてご家族に持たせてしまい、「なんだか味がおかしかった」とご家族から連絡が入り、慌てて「大丈夫でしょうか」とご相談いただくケースもあります。

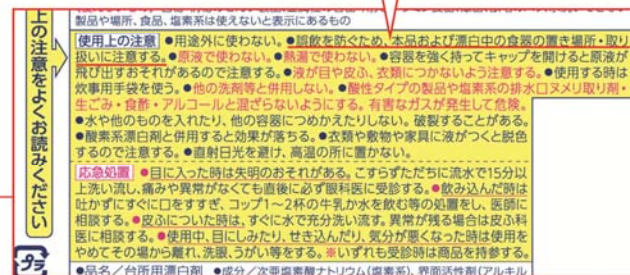
漂白中の食器等の置き方例（水筒とカップ）



誤飲を未然に防ぐために、台所用漂白剤への表示強化に取り組んでいます



● 誤飲を防ぐため、本品および漂白中の食器の置き場所・取り扱いに注意する。



もし、誤って口にしてしまったら

キッチンハイターのような塩素系の漂白剤の場合、独特なニオイや味があるため、うっかり口にしても、すぐに気づくことが多く、飲み込んでしまった場合「体に異常はないが大丈夫か。心配で電話した」とのご相談がほとんどです。

間違わないようにすることが大切ですが、もし誤って口にしてしまった際には、花王や日本石鹼洗剤工業会のホームページに緊急対応についての記載がありますので、下記URLでご確認ください。

花王URL http://www.kao.com/jp/soudan/aid/mouth_01.html

日本石鹼洗剤工業会URL <http://jsda.org/w/3goingoyou/index19.html>

なお、高齢になると、ニオイや味を感じにくくなることもあり、多量に飲んでしまうこともあるので、特に注意が必要です。日本石鹼洗剤工業会のホームページに「高齢者の誤飲・誤食」についての記事（http://jsda.org/w/02_anzen/goin_koureisya.html）がありますので、ご参考にしてください。